

平成 27 年度

宇都宮大学大学院  
農学研究科修士課程

## 学生募集要項

(推薦特別選抜)

(一般選抜)

(社会人特別選抜)

宇 都 宮 大 学

「豊かな発想を地域に，新たな知を世界へ 宇都宮大学」

## ☆ 主要日程

	推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
出願受付期間	平成26年6月12日(木)から6月16日(月)まで 9時から16時まで(ただし、土曜・日曜は除く)		
筆記試験		平成26年7月16日(水) 9時30分から16時まで	
小論文			平成26年7月17日(木) 9時30分から11時まで
面接	平成26年7月17日(木) 9時30分から11時50分まで	平成26年7月17日(木) 9時30分から11時50分まで	平成26年7月17日(木) 13時30分から15時まで
合格者発表	平成26年7月25日(金)13時		

### 入学試験過去問題の開示について

農学研究科では、過去5年間の入学試験問題を開示しています。

開示場所 入試課

窓口での閲覧

開示時間 9時～17時(土曜・日曜・祝日・夏期一斉休業日(8月13日(水)・14日(木)・15日(金))は除く。)

### 個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続きなど入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係(学生証交付、履修指導、名簿作成等)及び学生生活関連(奨学金、授業料免除等)の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

## ☆ 問い合わせ先

〒321-8505 宇都宮市峰町350  
宇都宮大学学務部入試課  
電話 028-649-5405

## ☆ 農学部ホームページ

ホームページアドレス  
<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

# 目 次

農学研究科アドミッション・ポリシー	1
推薦特別選抜募集要項・一般選抜・社会人特別選抜募集要項	2
長期履修学生制度	10
疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談	11
注意事項	11
平成26年度入学状況	12
[附記] 東京農工大学大学院連合農学研究科（博士課程）	12
教員の教育研究分野	13
試験場案内図	16

## (添付書類等)

- ① 入学志願票
- ② 写真票, 受験票
- ③ 推薦書 (推薦特別選抜出願者用)
- ④ 入学希望理由書 (推薦特別選抜・社会人特別選抜出願者用)
- ⑤ 研究計画書 (社会人特別選抜出願者用)
- ⑥ 日本語受験承諾書
- ⑦ 宛名シール, 志願票受付用シール
- ⑧ 銀行振込用紙 (入学検定料振込用)
- ⑨ 入学検定料振込受付証明書貼付台紙
- ⑩ 受験票送付用封筒
- ⑪ 出願用封筒

# 【農学研究科アドミッション・ポリシー】

## 〔生物生産科学専攻〕

- ・ 農業やバイオサイエンスに関する高度な知識や技術を習得して、地域社会や国際社会に貢献しようとする夢と情熱を持つ人

## 〔農業環境工学専攻〕

- ・ 工学的な素養を基礎として、環境と調和した農業システムや田園空間の創出に関わる高度な専門知識の修得、課題の設定及び解決能力の向上に意欲がある人

## 〔農業経済学専攻〕

- ・ 食料・農業・農村の社会経済問題に深い関心を持ち、高度な専門教育を受ける中で、専門職業人としての資質を高め、社会発展に寄与できる人

## 〔森林科学専攻〕

- ・ 森林・林産業の分野で高度な知識と研究能力を身につけ、将来は専門的職業人・研究者として積極的に社会に貢献できる人

# 【推薦特別選抜・一般選抜・社会人特別選抜募集要項】

## 1. 専攻及び募集人員

専攻名	修士講座等	募集人員		
		推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
生物生産科学専攻	植物生産学	/	約40名	若干名
	動物生産学			
	応用生物学			
	応用生物化学			
	資源循環・土地利用型畜産学(分野)		1名	
農業環境工学専攻	農業環境システム工学	約4名	約8名	若干名
農業経済学専攻	農業経営経済学		約8名	若干名
森林科学専攻	森林生産保全学	約5名	約5名	若干名
計		71名		

平成26年度の入学状況は12ページのとおりです。

- ① 『社会人特別選抜』で社会人とは、平成27年3月31日現在において、大学卒業後、3年以上の社会経験を有する者又は義務教育修了後、10年以上の社会経験を有する者をいいます。
- ② 『社会人特別選抜』で出願しようとする者は、事前に入試課へ照会し、入学後の研究計画等について、指導を受けようとする教員に問い合わせてください。
- ③ 『社会人特別選抜』で出願しようとする者のうち、教育方法の特例措置を希望する者は、10ページを参照してください。

## 2. 出願資格及び推薦要件

### ○推薦特別選抜

#### 農業環境工学専攻

##### (1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、推薦要件を満たす者とします。

- ① 大学を平成27年3月卒業見込みの者
- ② 高等専門学校の特攻科を平成27年3月修了見込みで、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者  
\*出願資格②により出願する者は、出願前に必ず入試課に連絡をとってください。

##### (2) 推薦要件

- ① 学業成績がGPA2.5以上で、成績が優秀な者  
(ここでのGPAとは、所属学科等の各専門科目の評価、秀・優・良・可をそれぞれ4・3・2・1で評価し、単位数により重みをつけて平均をとったものとします。なお、秀は100点満点に対して90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とします。)
- ② 当専攻のアドミッション・ポリシーに適合し、勉学に熱意を持つ者
- ③ 学科長等が責任をもって推薦できる者で、合格した場合には入学することを**確約**できる者

## 森林科学専攻

### (1) 出願資格

大学を平成 27 年 3 月卒業見込みの者で、推薦要件を満たす者とします。

### (2) 推薦要件

- ① 日本技術者教育認定機構 (JABEE) が認定する分野別認定プログラム (森林および森林関連分野) を修習予定の者
- ② 学業成績が G P A 2. 7 5 以上で、成績が優秀な者  
ここでの G P A とは、所属学科等の各専門科目の評価、秀・優・良・可をそれぞれ 4・3・2・1 で評価し、単位数により重みをつけて平均をとったものとします。なお、秀は 100 点満点に対して 90 点以上、優は 80 点以上 90 点未満、良は 70 点以上 80 点未満、可は 60 点以上 70 点未満とします。
- ③ 当専攻のアドミッション・ポリシーに適合し、勉学に熱意を持つ者
- ④ 学科長等が責任をもって推薦できる者で、合格した場合には入学することを**確約**できる者

## ○一般選抜・社会人特別選抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 27 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 27 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 27 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程 (修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 27 年 3 月までに修了見込みの者 **注 1)**
- (7) 文部科学大臣の指定した者 (昭和 28 年文部省告示第 5 号)
- (8) 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、農学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの **注 2)**
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、農学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの **注 2)**
- (10) 農学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力がある

と認められる者で平成27年3月31日までに22歳に達する者 注2)

注1) 出願資格(6)で出願しようとする者は、平成26年6月2日(月)までに必ず入試課へ問い合わせてください。

注2) 出願資格(8), (9)及び(10)で出願しようとする者は、必ず入試課へ早急に問い合わせ、平成26年6月2日(月)までに「出願資格個別審査申請」の手続きをしてください。

### 3. 出 願 手 続

出願書類は提出先に持参又は郵送してください。

入学志願者は、(2)に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の『出願用封筒』に入れて提出してください。本学が書類を受理したときは、本人あて『受験票』を郵送します。

#### (1) 出願受付期間

平成26年6月12日(木)から6月16日(月)まで(ただし、土曜・日曜は除く)

**受付時間は9時から16時までとし、郵送の場合も6月16日(月)16時までまでに必着のこと。**

なお、出願期間(日時)終了後に到着したものは、受理しないので注意してください。

#### (2) 出願書類及び入学検定料

① 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。

- ・ 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに入試課へその旨連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 出願書類の提出先 〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学入試課

② 入学検定料については、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

※ 提出該当者は、○で表示しています。

出願書類	提出該当者			摘 要
	推薦 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜	
① 入学志願票	○	○	○	所定の事項を記入すること。
② 写真票・受験票	○	○	○	出願前3か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身(4cm×3cm)の写真を『写真票』及び『受験票』に貼ること。 なお、『写真票』及び『受験票』には同一の写真を貼ってください。
③ 卒業証明書 (卒業見込証明書)	○	○	○	最終学校の学長(学部長)又は学校長が作成したもの。 ・言語によっては訳文の提出を求める場合があります。
④ 成績証明書	○	○	○	最終学校の学長(学部長)又は学校長が作成し、厳封したもの。 ・本学を卒業見込みの者は出願受付期間までに修学支援課の自動証明書発行機において「成績証明書」の交付申請をしてください。 ・言語によっては訳文の提出を求める場合があります。
⑤ 推 薦 書	○			在籍する組織の長(学科長、学部長など)が作成し、厳封したもの。 ・本学を卒業見込みの者は、指導教員が作成し、厳封したもの。

出 願 書 類		提出該当者			摘 要
		推 薦 特別選抜	一 般 選 抜	社 会 人 特別選抜	
⑥	登録原票記載事項 証明書	日本国に在住 している外国人			日本国に在住している外国人は、市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。ただし、本学の在学者（科目等履修生及び研究生を含む。）については、提出する必要はありません。（法務省入国管理局の在留管理制度の変更により、同証明書が発行されない場合には、出願受付期間前に入試課に問い合わせてください。）
⑦	国費外国人留学生 証明書	国費外国人 留学生のみ			出願時に国費外国人留学生である者は、在学している大学発行の証明書又は、身分を確認できる書類等を提出すること。
⑧	入学検定料 (国費外国人留学生 は、注を参照)	○	○	○	<b>30,000円</b> 。本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座に振込んでください。ただし、ATMは使用しないでください。 <b>なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受取り、「入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付してください。</b>
⑨	学位授与証明書	出願資格(2)に 該当する者			大学評価・学位授与機構が作成したもの。
⑩	入学希望理由書	○			大学院で勉強・研究を行いたいと考えた動機及び目的を記載したもの。
⑪	研究計画書				大学院で研究しようとするテーマ及び内容を記載したもの。 ・学術雑誌への公表論文、各種機関や企業等の報告書及び学会発表要旨等を添付することができます。
⑫	日本語受 験書				太線で囲まれた部分について、記入してください。 ・日本語での受験を希望する者は、事前に入試課に相談してください。 (※) p6の一般選抜「外国語(一般・専門)」の摘要欄の「ただし書き1～5に該当する者」
⑬	返信用封筒 (受験票送付用)	○	○	○	本学所定の封筒に、住所、氏名を明記の上、郵便切手(速達郵送料362円)を貼ったもの。
⑭	宛名シール・ 志願票受付用シール	○	○	○	住所・氏名等明記の上提出すること。

(注) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前に必ず入試課に問い合わせてください。

#### 4. 入学者選抜方法

##### (1) 選 抜 種 別

推薦特別選抜	面接(口述試験を含む)の結果、最終学校の成績証明書、推薦書及び入学希望理由書を総合して行います。
一般選抜	学力検査(筆記試験)、面接の結果及び最終学校の成績証明書を総合して行います。 ・国費外国人留学生(研究留学生)、外国政府派遣留学生及びJICA留学生については、学力検査(筆記試験)を免除します。
社会人特別選抜	小論文、面接の結果及び最終学校の成績証明書を総合して行います。

##### (2) 受 験 科 目 等

###### 【 推 薦 特 別 選 抜 】

受 験 科 目 等	摘 要
面 接	出願専攻別に行います。



【一般選抜】

受 験 科 目 等		摘 要
外国語（一般・専門）		<p>『英語』とします。ただし、次のいずれかに該当する者は、日本語（一般・専門）での受験を認める場合がありますので、6月2日(月)までに入試課に連絡の上、希望する専攻長に相談し、出願時に所定の日本語受験承諾書を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出願資格（3）により出願する者</li> <li>2. 出願資格（4）、（5）により出願する者及び出願資格（8）により出願する者で、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、農学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者</li> <li>3. 出願資格（8）により出願する者で、外国において学校教育における15年の課程を修了し、農学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者</li> <li>4. 出願資格(10)により出願する者で、外国において学校教育における課程を修了し、農学研究科において日本語（一般・専門）の選択を認められた者</li> <li>5. 農業経済学専攻及び森林科学専攻については、外国人留学生として日本の4年制大学を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者として志願する者</li> </ol>
専門科目 (2科目)	専門必修科目	次ページの志望する <b>教育研究分野</b> の専門科目1科目とします。
	専門選択科目	<p>出願する教育研究分野<b>以外</b>の専門科目1科目とし、次ページの<b>専門選択科目の受験方法</b>によるものとします。</p> <p>ただし、農業環境工学専攻及び森林科学専攻にあつては、次のとおりとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 農業環境工学専攻は、『農業環境工学一般』とします。</li> <li>② 森林科学専攻は、『出願する教育研究分野が含まれる教育研究分野系以外の系の中の専門科目1科目』</li> </ol>
面	接	出願専攻別に行います。

【社会人特別選抜】

受 験 科 目 等		摘 要
小 論 文		出願専攻別に行います。
面	接	

(3) 科目一覧《一般選抜受験者のみ》

専攻名	修士講座等	教育研究分野	専門科目	専門選択科目の受験方法
生物生産科学専攻	植物生産学	作物栽培学	作物学	本専攻内のすべての専門科目のうち、出願する教育研究分野の専門科目以外を選択してください。
		園芸学	園芸学	
		比較農学	植物土壌微生物学	
		土壌学	土壌学	
		植物栄養・肥料学	植物栄養・肥料学	
		植物栄養生理学		
		地質学	地質学	
		植物生産技術学	植物生産技術学	
	植生マネジメント学	植物生態学		
	動物生産学	動物機能形態学	動物生理学	
			動物形態学	
		動物育種繁殖学	動物繁殖学	
			動物育種学	
		動物栄養制御学	栄養機能調節学	
		家畜繁殖生理学	家畜生産学	
	応用生物学	植物育種学	植物育種学	
		植物病理学	植物病理学	
		応用昆虫学	応用昆虫学	
		昆虫機能利用学	昆虫機能利用学	
		雑草学	雑草学	
		分子細胞生物学	分子細胞生物学	
	応用生物化学	生物化学	生物化学	
		生物機能化学		
		生物有機化学	生物有機化学	
		食品化学	食品化学	
		食品生化学	食品生化学	
		天然物有機化学	天然物有機化学	
		応用微生物学	応用微生物学	
		微生物工学		
		生物高分子材料学	生物高分子材料学	
		高分子材料化学		
		植物制御化学	植物制御化学	
		植物生理化学	植物生理化学	
	分子遺伝学	分子遺伝学		
資源循環・土地利用型畜産学(分野)	家畜栄養学	農村物質循環学		
	草地生態学	農村生態学		

専攻名	修士講座等	教育研究分野	専門科目	専門選択科目の受験方法	
農業環境工学専攻	農業環境システム工学	水文環境学	水文環境学	『農業環境工学一般』とします。	
		国際農業環境学	国際農業環境学		
		地域エネルギー工学	地域エネルギー工学		
		生物環境調節学	生物環境調節学		
		農作業環境工学	農作業環境工学		
		農村計画学	農村計画学		
		水質環境工学	水質環境工学		
		農地・土壌工学	農地・土壌工学		
		土壌・生物環境物理学	土壌・生物環境物理学		
		圃場機械学	圃場機械学		
		農村生態工学	農村生態工学		
		生物資源循環工学	生物資源循環工学		
農業経済学専攻	農業経営学	農業経営学	農業経営学	出願する教育研究分野以外の専門科目を選択してください。	
		農業史	農業史		
		農業政策学	農政学		
		食料経済学	農業経済学		
		環境経済学	ミクロ・マクロ経済学		
森林科学専攻	森林生産保全学	I	森林生態学・育林学	森林生態学	出願する教育研究分野が含まれる教育研究分野系(I～IV)以外の系の中の専門科目を選択してください。
			育林学		
		II	森林計画学	森林計画学	
				森林計測学	
			森林政策学	森林政策学	
		III	森林工学	森林機械学	
			砂防工学	森林土木学	
		IV	森林資源利用学	砂防工学	
				木材組織学	
			木材材料学	森林化学	
				木材材料学	

・受験しようとする教育研究分野の専門科目が2つ以上ある場合は、その中から1科目に限定して受験してください。

## 5. 試験の期日及び場所

場 所：宇都宮大学農学部

区 分	月 日	時 間	受 験 科 目 等
推 薦 特 別 選 抜	7月17日(木)	9:30~11:50	面 接 ( 専 攻 別 )
一 般 選 抜	7月16日(水)	9:30~10:30	外 国 語 ( 一 般 )
		10:50~11:50	外 国 語 ( 専 門 )
	13:00~16:00	専 門 科 目	
	7月17日(木)	9:30~11:50	面 接 ( 専 攻 別 )
社 会 人 特 別 選 抜	7月17日(木)	9:30~11:00	小 論 文
		13:30~15:00	面 接 ( 専 攻 別 )

- ・ 試験開始後 30 分までに入室した者については、受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

## 6. 合格者発表

### (1) 発表日時

平成26年7月25日(金) 13時(予定)

### (2) 掲示及び通知

合格者の受験番号を本学農学部掲示板〔農学部正面玄関〕に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

### (3) ホームページでの掲載

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。(システム障害等がない場合、農学部掲示板に掲示してから30分以降に掲載する予定です。)これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。

(注) 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

## 7. 入学確約書の提出

合格者は、『入学確約書』(用紙は、合格通知書と併せて送付します。)を平成26年8月5日(火)までに入試課に提出してください。

入学の意思がない場合は、必ず『入学辞退願』(様式任意)を提出してください(郵送可)。

## 8. 入 学 手 続

### (1) 入学手続日 平成27年3月中旬予定

詳細については、『入学確約書』提出者に対し改めて連絡します。

### (2) 提出書類は、『受験票』及び本学の指定する書類とします。『受験票』は入学手続時〔3月中旬予定〕に必要となるので、紛失しないように大切に保管してください。

## 9. 入学料及び授業料等

### (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(年額)

- ・ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
- ・ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ・ 授業料は、半期分(267,900円)をそれぞれ指定期日までに納付してください。

### (2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料(2年間分)[平成26年4月現在]

2,430円

## 10. 教育方法の特例措置

『社会人特別選抜』で出願しようとする者のうち、教育上特別の必要があると認められる場合には、入学後の履修について、以下の特例を認めることがあります。

### (1) カリキュラムについて

原則として、一般学生と同様に扱います。ただし、開講時間については、通常の間帯以外の時間や特定の時期に教育を希望する場合、出願書類等の中の『研究計画書』を作成する際に指導予定教員と受験者がよく協議しておくこととします。合格後速やかに指導教員と相談し、両者の合意によって特例を決めることができます。

### (2) 研究場所について

研究の場所については、指導教員と相談の上、原則として、1年間は職場(勤務先)を離れて農学研究科の通常の間帯において授業を受け研究することとします。

ただし、残りの1年間は、本学以外に各自の勤務先などにおいて研究を行うことができます。

## 【長期履修学生制度】

この制度は、職業を有していること等による修学の困難さに対して、標準修業年限(2年)を超えて一定期間(最長4年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができるものです。教育課程表や履修すべき総単位数は2年で修了するものと同じですから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年度分を3年度に分割して納入することになります。すなわち2年間(4学期)の授業料を3年間(6学期)に分割して納めていただくために、年当たりの負担額は少なくなります。(但し、授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。)

長期履修学生として認められるためには、宇都宮大学長に必要書類を添付の上、申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については留年扱いとなって、通常の授業料が適用されることとなります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長または短縮することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

### (1) 新規申請

ア. 入学時に申請する場合・・・入学手続期間中

イ. 在学中に申請する場合・・・長期履修開始前年度の2月末日

(2) 期間の延長及び短縮

延長を希望する場合・・・許可されている長期履修期間の終了する月の前月末日まで  
短縮を希望する場合・・・修了を予定する月の前月末日まで

本制度に関する問い合わせは、修学支援課(電話028-649-5090)までお願いします。なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

## 【疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談】

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で特別な措置を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で特別な措置が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限 平成26年6月2日(月)まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書(様式任意)に次の内容を記載し、医師の診断書を添えて入試課に提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号
- ② 志願予定の選抜の種類、専攻・講座名
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上特別の措置を希望する事項
- ⑤ 修学上特別の措置を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた特別の措置
- ⑦ 日常生活の状況

## 【注 意 事 項】

- (1) 出願書類などを郵送で請求する時は、大学あての封筒に「大学院農学研究科学生募集要項請求」と朱書きし、郵便番号・住所・氏名を明記した返信用封筒(角形2号。205円分の切手を貼付したもの。速達の場合は485円分の切手を貼付。)を同封して、入試課へ申し込んでください。
- (2) 学生募集に関する照会は、入試課(電話028-649-5405)において受付けます。なお、郵便で照会する場合は、長形3号封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、82円切手を貼ったものを同封してください。
- (3) 各教育研究分野に関する照会は、各専攻において受付けます。

## 【平成 26 年度入学状況】

### 推薦特別選抜

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
農業環境工学専攻	4	4	4	4	3
森林科学専攻	5	0	0	0	0

### 一般選抜

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物生産科学専攻	41	53	51	43	38
農業環境工学専攻	8	7	7	5	4
農業経済学専攻	8	6	6	5	3
森林科学専攻	5	7	7	5	3

### 社会人特別選抜

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物生産科学専攻	若干名	0	0	0	0
農業環境工学専攻	若干名	0	0	0	0
農業経済学専攻	若干名	0	0	0	0
森林科学専攻	若干名	0	0	0	0

### 総括

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物生産科学専攻	41	53	51	43	38
農業環境工学専攻	12	11	11	9	7
農業経済学専攻	8	6	6	5	3
森林科学専攻	10	7	7	5	3
合計	71	77	75	62	51

## 【【附記】東京農工大学大学院連合農学研究科(博士課程)】

東京農工大学大学院連合農学研究科は、博士課程として、本学、茨城大学及び東京農工大学の協力のもとに設置され、一大学のみでは期待しがたい分野を相互に補いつつ、幅の広い、かつ、水準の高い教育研究を行うことを目的としています。

専攻部門は、生物生産科学、応用生命科学、環境資源共生科学、農業環境工学及び農林共生社会科学に分かれており、本学大学院農学研究科(修士課程)を修了した者は進学を志願することができます。

## 【教員の教育研究分野】

専攻名称	修士講座等	教員氏名	教育研究分野	専門分野	内 容
生 物 生 産 学	植 物 生 産 学	和田 義 春	作物栽培学	作物学	作物の生理・生態
		柏 木 孝 幸	作物栽培学	作物学	作物の農業形質を制御する遺伝的要因と環境要因に関する研究
		山 根 健 治	園芸学	園芸学	園芸作物の生理と利用に関する研究
		黒 倉 健	園芸学	園芸学	園芸作物の生理・生態に関する分子生理学的解析
		福 井 糧	比較農学	植物微生物学	持続的農業, 土壌微生物生態, 土壌病害及び生物防除
		平 井 英 明	土壌学	土壌学	土壌の生成分類, 作物生産・環境と土壌肥料, 土壌教育
		関 本 均	植物栄養・肥料学	植物栄養学	植物の栄養生理, 肥料の利用法
		高 橋 美智子	植物栄養生理学	植物栄養学	生殖成長期における金属元素の役割の解明
		相 田 吉 昭	地質学	地質学・古生物学	中生代及び新生代放散虫の化石層位学的研究, 付加体の地質学, 栃木県の地質
		居 城 幸 夫	植物生産技術学	園芸学・花卉園芸学	園芸植物の生理・生態と繁殖に関する研究, 植物の組織培養
		高 橋 行 継	植物生産技術学	水稻栽培学・農業気象学	水稻栽培の省力・低コスト栽培, 気象と作物生育・収量解析, 農業気象災害
		西 尾 孝 佳	植生マネジメント学	植物生態学・植生学	劣化植生の修復, 植物の集合原理および分布拡大機構
産 物 生 産 学	動 物 生 産 学	杉 田 昭 栄	動物機能形態学	動物機能形態学	家畜の生理学及び形態学—特に中枢神経系と視覚機構について—
		青 山 真 人	動物機能形態学	動物機能形態学	家畜のストレスに関する研究
		※吉 澤 緑	動物育種繁殖学	動物繁殖学, 生殖工学	哺乳動物における生殖工学と初期胚の正常性に関する研究
		福 井 えみ子	動物育種繁殖学	動物育種学	家畜の経済形質に関わるDNAの多型解析
		松 本 浩 道	動物育種繁殖学	生殖生物学, 発生工学	哺乳動物の初期胚発生, 子宮の機能および胚と子宮の相互作用の解析
		※菅 原 邦 生	動物栄養制御学	動物栄養制御学	鶏のエネルギー代謝の中枢性制御
		吉 澤 史 昭	動物栄養制御学	動物栄養制御学	栄養素による体タンパク質合成制御の機構解析
		佐 藤 祐 介	動物栄養制御学	動物栄養制御学	筋肉のサイズとタイプの調節に関する研究
		長 尾 慶 和	家畜繁殖生理学	家畜繁殖学	ウシ胚の初期発生とその発生工学的応用に関する研究
専 攻 生 物 学	応 用 生 物 学	☆金 子 幸 雄	植物育種学	植物育種学	アブラナ科植物を用いた遠縁交雑とその利用
		房 相 佑	植物育種学	植物育種学	作物有用形質の染色体・遺伝子レベルでの解析
		夏 秋 知 英	植物病理学	植物病理学	植物のウイルスと二本鎖RNAの遺伝子解析
		西 川 尚 志	植物病理学	植物病理学	植物のウイルス抵抗性の分子機構
		☆村 井 保	応用昆虫学	応用昆虫学	植物病害伝搬性昆虫の生活史と防除
		☆高 橋 滋	応用昆虫学	応用昆虫学	アブラムシ類の生態・分類
		香 川 清 彦	応用昆虫学	応用昆虫学	アブラムシ類の分類と生活環に関する研究
		川 崎 秀 樹	昆虫機能利用学	昆虫分子生物学	昆虫変態の分子生物学的研究
		岩 永 将 司	昆虫機能利用学	昆虫ウイルス学	昆虫ウイルスの利用, 分子生物学的解析
		小笠原 勝	雑草学	雑草学	雑草制御に関する研究
		児 玉 豊	分子細胞生物学	分子細胞生物学	環境応答性の細胞小器官の運動を制御する分子機構



専攻名称	修士講座等	教員氏名	教育研究分野	専門分野	内 容
生物生産科学専攻	応用生物化学	蕪山 由己人	生物化学	生物化学	動物細胞内の情報伝達機構に関する研究
		水重 貴文	生物機能化学	生物機能化学	機能性食品成分の生理作用に関する研究
		飯郷 雅之	生物有機化学	生物有機化学	天然生理活性物質の生合成と作用機序, 光ゲノム生命化学
		二瓶 賢一	天然物有機化学	天然物有機化学	天然有機化合物の構造決定、化学合成と機能性評価
		橋本 啓	食品化学	食品化学	調理・加工が食品の機能性に及ぼす影響に関する研究
		東 徳洋	食品生化学	食品生化学	乳中の機能蛋白質・ペプチドに関する研究
		山田 潔	食品免疫学	食品免疫学	免疫系の機能を制御する食品成分に関する研究
		上田 俊策	応用微生物学	応用微生物学	微生物による環境低負荷物質の生産と生分解ならびにそれに関連する遺伝子工学
		前田 勇	微生物工学	微生物工学	微生物の諸機能の解析とそれらの応用研究
		羽生 直人	生物高分子材料学	生物高分子材料学	生物高分子の機能開発とその利用
		金野 尚武	高分子材料化学	高分子材料化学	バイオマスの高度利用に関する研究
		米山 弘一	植物制御化学	植物制御化学	植物生理機能の化学的調節
		野村 崇人	植物生理化学	植物生理化学	植物ホルモンによる植物の生長制御
		謝 肖男	植物機能化学	植物機能化学	植物が生産する生理活性物質に関する研究
		松田 勝	分子遺伝学	分子遺伝学	魚類における性差構築の分子機構解明
農環境工学専攻	資源循環型・畜産学分野	森 昭憲	草地生態学	草地生態学	草地生態系の構造と機能の解明
		野中 和久	家畜栄養学	土壌・草地管理学	飼料化技術と混合調整技術の開発
		後藤 章	水文環境学	水文環境学	水文解析手法に基づく流域水環境・水資源利用の評価
農業環境工学専攻	環境システム工学	齋藤 高弘	生物環境調節学	生物環境調節学	施設園芸（植物工場含む）での効率的な植物生産技術、食品の機能性の評価技術の開発
		田村 孝浩	農村計画学	農村計画学	グリーン・ツーリズムの推進、維持管理労働の省力化に向けた基盤形成技術の開発
		福村 一成	国際農業環境学	国際農業環境学	地盤環境の修復技術、国際農業協力と環境
		松井 宏之	水質環境工学	水質環境工学	水域での汚濁物質の挙動の解析
		大澤 和敏	農地・土壌工学	農地・土壌工学	農耕地を含む流域圏における水・物質動態の評価
		飯山 一平	土壌・生物環境物理学	土壌・生物環境物理学	土壌中および土壌を介した物質移動現象の解明
		菱沼 竜男	地域エネルギー工学	地域エネルギー工学	低環境負荷型の農畜産物生産システム検討に関する研究
		柏 寄 勝	農作業環境工学	農作業環境工学	農作業の省力化・軽労化・機械化、農産物の品質分析・評価
		松井 正実	圃場機械学	圃場機械学	農業生産性向上と作業労働・環境負荷の低減を目指した圃場機械の最適化
		守山 拓弥	農村生態工学	農村生態工学	農村地域の生態系の解明と保全及びその利活用
		池口 厚男	生物資源循環工学	生物資源循環工学	バイオマス、再生可能エネルギーの利用技術、農業施設の環境制御

専攻名称	修士講座等	教員氏名	教育研究分野	専門分野	内 容
農業経済学専攻	農業経営経済学	斎藤 潔	農業経営学	農業経営学	欧米諸国の農業経営，農業教育システム
		原田 淳	農業経営学	農業経営学	農業経営の組織に関する研究
		杉田 直樹	農業経営学	農業経営学	農産物マーケティング
		加藤 弘二	環境経済学	環境経済学	農業の多面的機能の評価
		児玉 剛史	食料経済学	食料経済学	食料経済の実証分析
		大栗 行昭	農業史	農業史	日本地主制史，農地政策史
		神代 英昭	農業政策学	農業市場論	農産物の生産・加工・流通に関する研究
		秋山 満	農業政策学	農業政策学	農業政策，農業構造問題
森林科学専攻	森林生産保全学	大久保 達弘	森林生態学・育林学	森林生態学・育林学	森林群落の更新機構と劣化した森林生態系の修復
		逢沢 峰昭	森林生態学・育林学	森林生態学・育林学	森林植物の遺伝・形態・生態的特性の地理的変異の解明とその応用
		執印 康裕	砂防工学	砂防工学	砂防工学・森林水文学
		松英 恵吾	森林計画学	森林計測学	樹木形状による成長モデル，リモートセンシング，GISによる林分管理
		山本 美穂	森林政策学	森林政策学	土地利用転換論，山村定住問題，地域森林政策
		田坂 聡明	森林工学	森林工学	民有林の伐出作業システムに関する研究
		有賀 一広	森林工学	森林工学	森林土木学・森林機械学・森林作業学
		横田 信三	森林資源利用学	森林資源利用学	樹木と担子菌類との化学的・生化学的相互作用に関する研究
		石栗 太	木材材料学	木材材料学	木材の材質特性の解明
飯塚 和也	木材材料学	森林量的遺伝学	量的形質，材質特性，繁殖特性		

☆は平成27年3月末定年退職者，※は平成28年3月末定年退職者なので，当該教育研究分野志望者は事前に入試課へ照会すること。

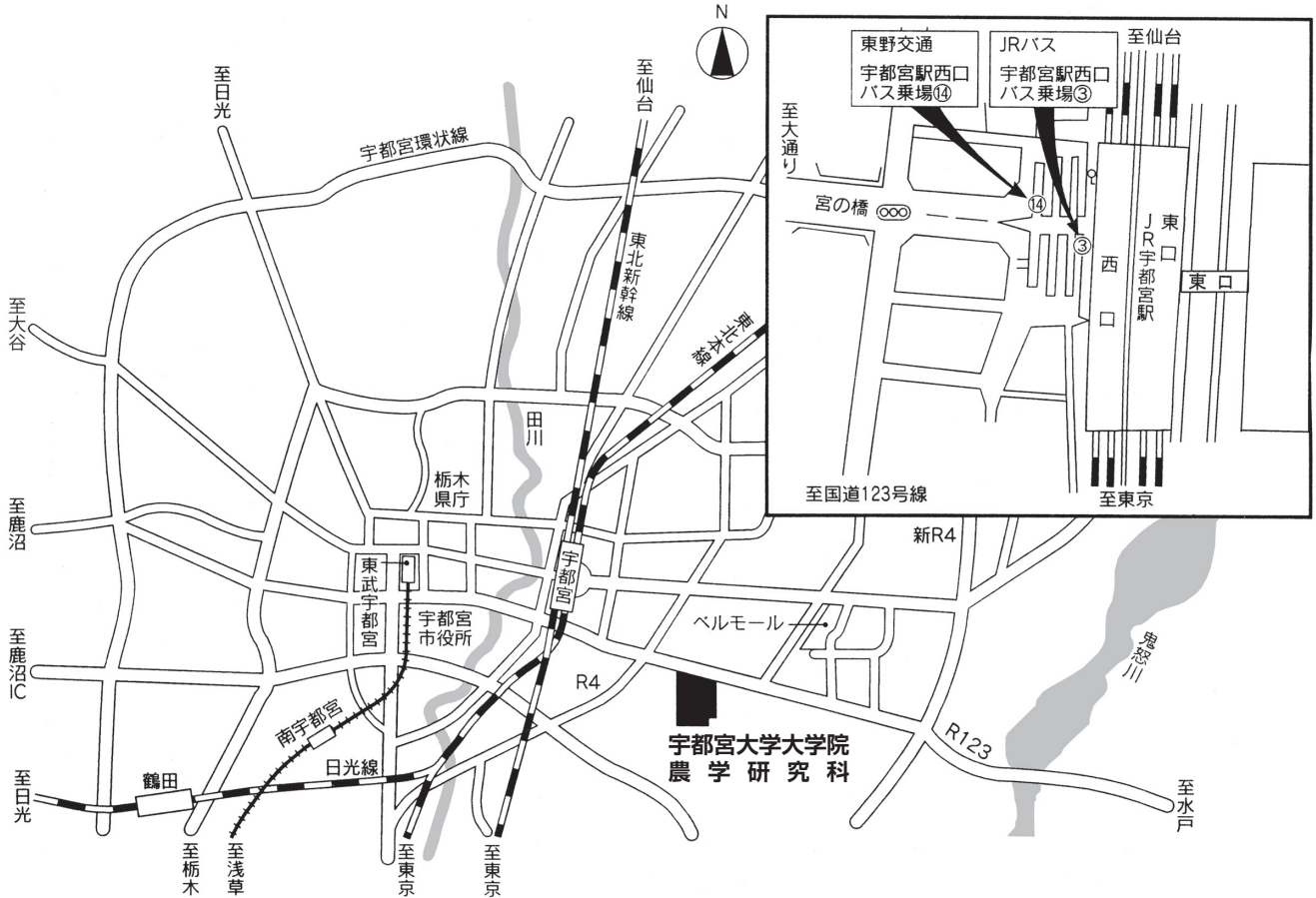
# 【試験場案内図】

東京都内からの所要時間

- JR 東京駅から  
東北新幹線利用 約50分
- JR 新宿駅から  
湘南新宿ライン・東北新幹線利用 約1時間（JR大宮駅乗換）  
湘南新宿ライン・宇都宮線利用 約1時間50分
- 羽田空港から  
東京空港交通・関東自動車・東野交通 バス利用 約2時間30分

仙台からの所要時間

- JR 仙台駅から  
東北新幹線利用 約1時間30分



◎宇都宮大学大学院農学研究科試験場（JR宇都宮駅から約2.2km）

- JRバス（祖母井、茂木、清原台団地行など）…………… JR宇都宮駅西口バス乗場③から乗車  
約15分「宇大前」下車
- 東野交通（真岡、益子、東峰町循環、平松本町循環、海星女子学院、清原球場、清陵高校、ベルモール前行など）………  
JR宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車  
約15分「宇大前」下車
- 東武宇都宮駅バス乗場から乗車約25分「宇大前」下車

〔参考〕 JRバス関東(株)宇都宮支店 ☎028(687)0671  
 ジェイアールバス関東時刻表検索 http://www.atochigi.ne.jp/jr\_bus/  
 東野交通(株)本社営業所 ☎028(661)2251  
 東野交通バス時刻表検索 http://www.atochigi.ne.jp/toya\_bus/